

令和5年度 年間指導計画

E環境2

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	I学年・E科
教科書			副教材				

学習目標	○農業の各分野における体験的な学習を通して総合的な知識と技術を習得し、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成します。
学習方法	○作物の栽培を通して、作物の生育特性や栽培環境・環境保全型農業について体験的に学習して理解します。 ○地域産業の課題を探りながら、生物工学や森林についての基礎的な知識と技術を習得し、2年次からの専攻班選択に向けての理解を深めます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					調査	調査以外
学 習 評 価	a 知識・技能	農業生物の育成に関する基礎的な技術を身につけ、責任を持って栽培に取り組むことができる。また、環境について基礎的な調査を行い、データをまとめることができる。	前期中間	40 %	0	40
			前期末	40 %	0	40
			後期中間	40 %	0	40
			後期末	40 %	0	40
	b 思考・判断・表現	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断することができる。	前期中間	30 %	0	30
			前期末	30 %	0	30
			後期中間	30 %	0	30
			後期末	30 %	0	30
	c 主体的に学習に取り組む態度(意欲)	農業生物の育成と環境の保全など、農業と環境について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて解決しようとする態度を身につけている。	前期中間	30 %	0	30
			前期末	30 %	0	30
			後期中間	30 %	0	30
			後期末	30 %	0	30

学期	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法		
		a	b	c				
前 期 中 間	○栽培と飼育のプロジェクト ○意見発表	・畑の準備から播種、育苗管理の方法を体験を通じて理解します。(耕起、施肥、畝立て、マルチング、播種、育苗管理、定植、トンネル、除草) ・生育調査、環境調査項目を理解し、実際に調査できる技術を身につけます。 ・ジャガイモ・ニンジン・タマネギについての栽培方法と生育特性を理解します。 ・学科内意見発表会において、農業や環境に関する意見文を作成し、発表します。 ・校内意見発表会に参加し、各学科の代表生徒による意見文の発表を聞き、理解を深めます。	○			a:栽培品種のや生育特性に関する知識を身につけるとともに、栽培に必要な畑の準備を理解している。 b:育成環境要素に関する思考を深め、生育過程や結果を表現できる。 c:ジャガイモ・ニンジン・タマネギをはじめとした栽培について興味関心を持つことができる。	・実習レポート ・作物管理状況 ・実習態度 ・意見発表	
			○	○				
				○	○			
				○	○			○

前期末	○栽培と飼育のプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物の栽培方法を体験を通じて理解します。(除草、病害虫、収穫、収量調査) ・生育調査、環境調査項目を理解し、実際に調査できる技術を身につけます。 ・ジャガイモ・ニンジン・タマネギについての栽培方法と生育特性を理解します。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a:栽培の基礎的な知識を身につけ、病害虫防除や土壌構造と関連づけて理解している。 b:生育調査を通じて農作物栽培に関する思考を深め、気候や病害虫発生状況に応じた生育過程や調査結果を表現できる。 c:ジャガイモ・ニンジン・タマネギをはじめとした栽培について興味関心を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート ・作物管理状況 ・実習態度
後期中間	○栽培と飼育のプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・作物を収穫行いながら1年間の栽培実習についてまとめ、考察、反省をします。 ・盛農祭に向けて生産状況や活動内容をまとめます。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a:栽培の基礎的な知識を身につけ、栽培環境と関連づけて理解している。 b:育成調査を通じて農作物栽培に関する思考を深め、生育過程や調査結果をデータをもとに表現できる。 c:トウモロコシ・ダイズ・スイカをはじめとした栽培について興味関心を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・小テスト ・実習態度 ・作物管理状況 ・盛農祭
後期末	<ul style="list-style-type: none"> ○環境科学科専攻班のローテーション実習 ①「森林環境班」 ②「生物資源班」 ○プロジェクト発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究班の実習内容について体験的に学習し、2年次以降のコース選択に向けて理解を深めます。 ・自然生態系と地球環境について学習し、環境と調和した農業のあるべきすがたを理解します。 ・農作物生産の学習体験についてまとめ、理解を深めます。 ・冬季特別実習・学科内プロジェクト発表会に参加し、各研究班の学習内容について理解を深めます。 ・校内プロジェクト発表会に参加し、各学科の学習内容について理解を深めます。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a:農林業と環境に関する地域産業の現状について理解している。 b:地域産業に関する思考を深め、産業振興のためにすべきことを判断し、実践する意志を表現できる。 c:農林業と環境に関する産業の課題について興味関心を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・実習態度 ・プロジェクト発表